

あんどおりすの防災四季だより
第56回 放送日：2020.4.26.(日)
パーソナリティー：あんどおりす
テーマ：パンデミック下の避難所生活



「命を守る」という大切なことに役立つのは、
アウトドアのスキル。

阪神大震災を被災した「あんどおりす」さんが、
防災・減災の方法を楽しく導きます。

パンデミックが起きている時
3密を避ける避難所生活とは？

これからは、
できるだけ自宅に居られるように。



自宅を安全にすること。





皆さんこんにちは
新型コロナウイルスの影響で、
緊急事態宣言が出されていることもあって、
本日は自宅からの放送です。

自宅で放送するにあたり、
音は良い方が良くかなと思って
マイクを買ってみたんですね。

その時薦められたのが、
ゲーミング用マイクっていうものです。

ゲームの実況をする時に、
マイクを使うらしいんですよ。

なんだか目の前にあるマイクが
赤く光ったりなんかして結構ハデハデなので、

ちょっと恥ずかしいですが
皆さんよろしくお願ひします。



避難所でのパンデミック対策

本日皆さんにお話ししたいのは、

「避難所における新型コロナウイルス感染症への更なる対応について」(※)

というもので、

4月7日に内閣府から出された資料からです。

各都道府県や保健所のある市の
防災担当長などにあてて出されています。

(※)内閣府
府政防第779号消防災第62号健感発0401第1号
令和2年4月1日
<http://www.bousai.go.jp/pdf/korona.pdf>

事務連絡
令和2年4月7日
http://www.bousai.go.jp/pdf/hinan_korona.pdf



これに何が書かれているのかというと

新型コロナウイルスが感染拡大している時に災害が起き、避難所に行くとなると、

3密と言われる、(※1)
密閉された場所に密集接近している状況に陥ってしまいます。

今まで以上に避難所が大変になることが想定されるので、

平時のうちの事前準備及び
災害時の対応の参考にすべき内容

というものが、書かれています。

(※1)3密「密集・密閉・密接」東京都

https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/governor/governor/katsudo/2020/03/25_00.html



避難所の数を増やす

もともと都市部では、

全く避難所の数が足りない。と、
言われています。



ですので、
この状態だと
グューグューの3密になってしまいます。
だから
可能な限り多くの避難所を開設したい。

この資料によると、
避難所の数を増やすために、

ホテルや旅館などにも協力を頼むように。
ということです。

social distancing

social distancing





ただ、
新型コロナウイルスの
軽症者の受け入れということも、
ホテルに頼んでいる状況です。

災害時に、どれだけの人を分散して収容
できるかというのは、

実際、
難しい問題も出てきますよね。



social distancing

social distancing



親戚・友人宅へ避難って どうなの!?

親戚や友人の家等への避難の検討
という事もあります。

これも、
親戚とはいえ高齢の人がいるとか

友人でも、
小さい赤ちゃんがいるなどという場合には、

避難させてくださいと言うのも
大変難しいですね？

自分が感染しているかもしれないですし。





そうなってくると、
できるだけ自宅に居られること。

「自宅を安全にすること」が

やっぱり
今まで以上に大事になってくるようになります。

このことについては、
内閣府の方針以外にも考えられています。



COVID-19（新型コロナウイルス感染症） 流行下における 水害発生時の防災・災害対策を考えるためのガイド

例えば
岐阜大学流域圏科学研究センターの
小山真紀先生（※3）がまとめた

取りまとめの文章（※4）がありますので
ご紹介します。

（※3）
小山 真紀さん 岐阜大学流域圏科学研究センター
<https://researchmap.jp/makik/>

（※4）
COVID-19（新型コロナウイルス感染症）流行下における
水害発生時の防災・災害対策を考えるためのガイド
<https://bit.ly/2yBSo1l>



取りまとめガイドより 災害時に起きそうなこと

① 避難所の場所が分からない人が増えるだろう。

今までは、小学校に行っておけばいいかな～
近くの中学校行へ行けばいいなか～と
決めていたかもしれません。が、

これからは、
もっと数多くの避難場所に行きなさいと言わ
れているので、

→ 自分が行く場所が分からない。



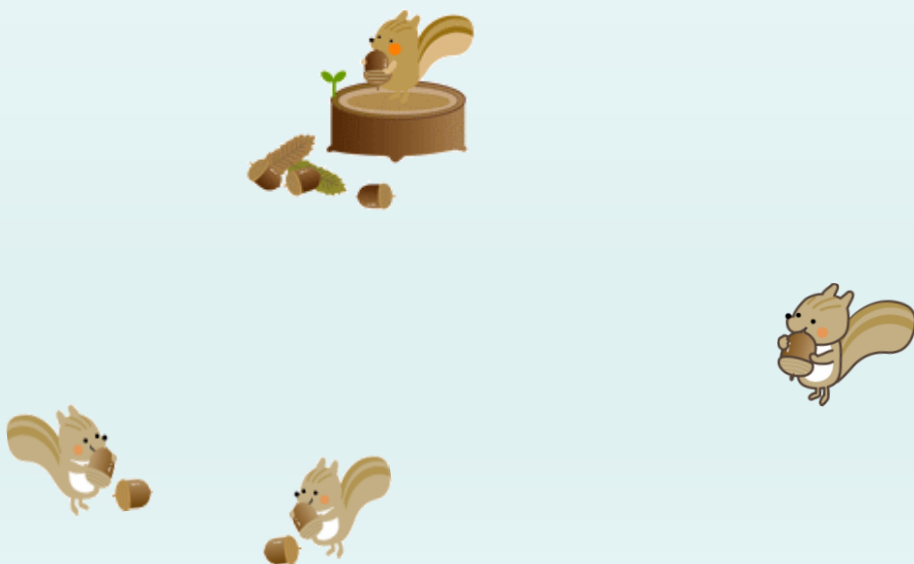
② 3密になってしまうから、大変 (@_@;)
と考え、

本当はすぐ避難しなければいけない人も、
避難しなくなってしまうかもしれない。
という事も、問題視されています。

③ 新型コロナウイルスでは、
手洗いが重要だと言われています。

地震災害などで水道が止まってしまうと、
手洗いができなくなっちゃいますね。

感染拡大を防止することが、
非常に難しくなるという事です。



さらに心配なことには、



④ 今まで災害が起こると、ボランティアの人が外からやってきていろいろ手助けをしてくれました。避難所の運営も手伝ってくれました。

感染症蔓延の際は、外部から人が来てくれない可能性があります。

⑤ 今まで通りの避難所運営をすれば、人と人とが接近しすぎてしまう。

避難所を運営する人たちの会議が、密室密集状態。などの事もあるかもしれません。

かなり真剣に事前に考えておかないと対策が取れないという事が心配されています。



⑥ 避難所では、トイレなどが共有部分になっているので、
人と人が出合いやすくなってしまいう問題があります。

ドアノブ、便器など、
そういった物の消毒も必要になります。

今、消毒用グッズが品薄になっていたりするので、大丈夫か？
という心配も出てきています。



⑦ 避難生活が長引いてくると、
炊き出しという事が問題になってきます。

マスクも手に入りにくくなっていますし、
調理中は会話も一切できない。

近くにも寄れない炊き出しって、
はたしてどんなのかな？

などという問題もありますよね？



もう一度考え直す

避難場所や避難所へ行くことになった場合、
最近はもう、

体温計を持っていく方がよいのではないか。

手も洗えないとなると、
感染症の心配が増えるので、
お水もたくさん準備しなければいけない。

という話も出てきています。

今まで想定していた避難所での生活を
全部もう一回
考え直さなければならないんじゃないか？

という事まで議論になり始めています。



自宅が安全である事

根本的な解決としては、やはり
自宅が安全である事です。

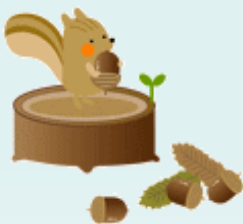
そうでないと
避難しなければいけないんです。

そうは言っても、

水害常襲地域であったり、
水害がこれから心配になる地域、

土砂災害が心配になる地域、
津波が到達する場所などでは

避難しなければいけません。





津波だと、
ほんとに逃げる場所すら少ない可能性も
ありますので、

自宅の引っ越しという事まで考えなければ
いけないんじゃないか？

などという事が
今まで以上に議論されています。





もちろん
感染症が拡大している時に
引っ越しなどはできません。



実際に
このような議論になっている事を
皆さんは認識なさって、

今一度考えていただければ良いな。
というふうに思っています。

岐阜大学の流域圏科学研究センター
小山真紀先生の取りまとめ(※4)を
載せておきます。

(※4)

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)流行下における
水害発生時の防災・災害対策を考えるためのガイド

<https://bit.ly/2yBS01l>



(TEXT/はしも)